

博物館学芸員講座 2019

平成 31 年 4 月に再締結した大阪市立大学との包括連携協定に基づき、「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館経営論」に学芸員を講師として派遣しています。

● 大阪市立大学 令和元年度 博物館学芸員講座一覧

1. 博物館資料保存論

【授業の到達目標】博物館において、さまざまな分野の資料を、展示環境や収蔵環境を含めて良好な状態で保存・継承するために必要な基礎的知識や技術を身につけるとともに、資料の修復や科学的分析についても、最新の成果を含めて習得する。

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	資料の状態調査・現状把握
第 3 回	資料の科学的保存処理
第 4 回	資料の修復・修理(考古)
第 5 回	自然環境の保護（生物多様性・種の保存を含む）①
第 6 回	自然環境の保護（生物多様性・種の保存を含む）②
第 7 回	資料の取り扱い 梱包と輸送
第 8 回	資料の修復・修理（美術・歴史）
第 9 回	資料保存の諸条件とその影響（温湿度、光、振動、大気等）、生物被害と I P M（総合的有害生物管理）
第 10 回	災害の防止と対策（火災、地震、水害、盗難等）
第 11 回	伝統的保存方法
第 12 回	収蔵の保存環境
第 13 回	展示の保存環境
第 14 回	地域資源・文化財の保存と活用
第 15 回	まとめ

2.博物館展示論

【授業の到達目標】博物館の展示について、歴史・美術・自然史など幅広い分野の実践例を通じて、理論や具体的技術・手法を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養う。あわせて、特別展（企画展）等の企画から実施までの具体的手続きについて学ぶ。

第1回	イントロダクション 展示とは
第2回	美術資料・文化財の展示手法、展示に関する諸問題
第3回	歴史展示に関する諸問題
第4回	考古資料の展示、遺跡の利用
第5回	建築資料の展示
第6回	展示の諸形態1 東洋陶磁美術館（もしくは大阪市立美術館）の展示〈現地見学と講義〉
第7回	展示の諸形態2 大阪市立科学館（もしくは歴史博物館）の展示〈現地見学と講義〉
第8回	自然史資料の展示手法
第9回	特別展の企画と運営
第10回	展示の諸形態3 自然史博物館の展示〈現地見学と講義〉
第11回	巡回展示の企画・運営
第12回	海外資料の展示に関する諸問題
第13回	展示技術のいろいろ
第14回	観覧者からみた展示

3.博物館経営論

【授業の到達目標】博物館の組織や活動について、歴史・美術・自然史・科学など幅広い分野の実例を学び、博物館経営に関する基礎的な知識を習得するとともに、博物館が今後社会のなかで果たすべき役割について、自分の考えをまとめることができるようにする。

第1回	イントロダクション
第2回	ミュージアムマネジメントとわが国の博物館
第3回	運営の実態（組織体制・財務・日常運営・設備等）
第4回	歴史系博物館の運営
第5回	美術館の運営1
第6回	自然史博物館の運営
第7回	博物館の使命・計画・評価
第8回	美術館の運営2
第9回	博物館と倫理
第10回	博物館における市民参加
第11回	科学館の運営
第12回	他館・他機関との連携
第13回	公共施策や地域との関係
第14回	博物館経営の現状と課題
第15回	まとめ